

民報

あばしり

NO.1064

2016.4.10

発行所

日本共産党  
網走市委員会  
網走市北八西三  
四四三、四四五八  
F 四三、四四五七



松浦奮戦メモ

日本共産党の山下書記局長は3月28日、衆院の小選挙区で野党間の選挙協力を追求しつつ、わが党として候補者の擁立をすすめる方針を述べました。この間、どういう原則で選挙協力をを行うかも含めて、衆院選での選挙協力の協議に入ることを呼びかけてきた。

# 子ども医療費

## 助成について

先週号の反対討論の中で、子ども医療費について記事を書きましたが、詳しい事が知りたいと問い合わせがありましたので、お答えします。

子ども医療費の通院費を現在3割であったのを原則1割負担にする(対象は中学生を卒業するまで)。また、アルバイトなど正規の仕事がなく収入が少ない18歳までの子ども(高校生含む)も入れて子どもが3人以上いる世帯は、3人目から無料になります。

尚、高校生の子どもが卒業したら原則の1割負担になります。基本的な考え方は、児童手当と同じであり、実施は8月からです。



## 休日内科急病センターが開設

市内医療機関の負担軽減のため、医師を確保し、休日の内科救急医療体制を整える目的で4月から開設されました。

休日内科急病センターは厚生病院内に開設し、日曜日や休日は年間約70日ありますが、その約半分を担当します。同センターの医師は、北大病院、日本医科大学附属病院の複数の医師によって診療を行います。それ以外の休日は、これまで通り市内の医療機関で行います。診療時間は午前9時から午後5時まで。

### 「ストップ!戦争法 網走の会」ニュース 2016.4.3

みなさん!ごくろうさまです

# 2906筆に到達しました

## 戦争法廃止の2000万署名

### ※だれの子供も殺させない!



## 4月の行動予定

- ・16日(土) 11時より駒場ベーシック店前歩道にて宣伝・署名行動  
11時25分からエコーセンター前歩道にて宣伝・署名行動  
午後2時より潮見地域で署名行動
- ・19日(火) <全国一斉行動に呼応して>  
午後2時~3時までコープさっぽろ店前にて署名行動
- ・23日(土) 11時より駒場ベーシック店前歩道にて宣伝・署名行動  
11時25分からエコーセンター前歩道にて宣伝・署名行動

※4月25日が目標達成の全国目標です。

## ご協力よろしくお願ひします!



戦争法(安保法制)の廃止を目指す「ストップの会」は1日幹事会を開き4月の行動目標を決めました。「ストップの会」が発行したニュースの一部を紹介します。

3月23日の共産、維新、社民、生活の4党の党首会談での合意で「5野党間で速やかに小選挙区での選挙協力のための協議に入るべきである」との合意を踏まえ、衆参ダブル選挙の可能性もあることから協議に入ることを求めています。民進党の枝野幹事長が「協議には入れない」といっているようです。何とか衆院小選挙区でも「野党共闘」ができるよう願っています。

## 流氷

▼報道ステーションの古舘氏が3月で降りた。ドイツでの中継が最後の番組となった。ご覧になった方も多いと思う。▼ヒトラー政権が成立して2か月後、国会放火事件が起き(策動といわれている)ヒトラーは共産党の犯行と断じて翌日、国家緊急権に基づき全権委任法を強行採決。あれよあれよという間に独裁体制を敷いていった。▼あべ首相がやる気満々の改憲と自民党の改憲案にある「緊急事態条項」、そして今のこの国の状況が当時のヒトラーのドイツにあまりにも似ているのではないか、という古舘氏の言葉に慄然とする。なんだかわが国の首相にちよびヒゲがはえた姿が目につかぶ。▼「失業不安におびえる人たちの支持をとりこもうとする方法が似ている」と語るのはファシズム研究の専門家。アベノミクスの三本の矢です。効果出てないけど。仮想敵をつくる手法もそっくりと。あべ君も朝鮮や中国を仮想敵として世論あおって軍事費ばんばん増やしてますねえ。▼さらに怖いことにヒトラー政権下に生きた多くのドイツ国民が良い時代だったと記憶しているという。あべ政権のもと格差と貧困が広がるなか「良い時代だ」というのは誰なんですか?▼数年前9条の会の小森陽一氏が来網し改憲案、特にこの「緊急事態条項」がいかにキケンか語っていたのを、全くだと実感したのは最近。▼アンテナを鋭く、と日ごろ思っているが、なかなかできないでいる。だからこそ気づいた時にはまわりに語っていかねばとも思う。(た)

古舘氏が3月で降りた。ドイツでの中継が最後の番組となった。ご覧になった方も多いと思う。▼ヒトラー政権が成立して2か月後、国会放火事件が起き(策動といわれている)ヒトラーは共産党の犯行と断じて翌日、国家緊急権に基づき全権委任法を強行採決。あれよあれよという間に独裁体制を敷いていった。▼あべ首相がやる気満々の改憲と自民党の改憲案にある「緊急事態条項」、そして今のこの国の状況が当時のヒトラーのドイツにあまりにも似ているのではないか、という古舘氏の言葉に慄然とする。なんだかわが国の首相にちよびヒゲがはえた姿が目につかぶ。▼「失業不安におびえる人たちの支持をとりこもうとする方法が似ている」と語るのはファシズム研究の専門家。アベノミクスの三本の矢です。効果出てないけど。仮想敵をつくる手法もそっくりと。あべ君も朝鮮や中国を仮想敵として世論あおって軍事費ばんばん増やしてますねえ。▼さらに怖いことにヒトラー政権下に生きた多くのドイツ国民が良い時代だったと記憶しているという。あべ政権のもと格差と貧困が広がるなか「良い時代だ」というのは誰なんですか?▼数年前9条の会の小森陽一氏が来網し改憲案、特にこの「緊急事態条項」がいかにキケンか語っていたのを、全くだと実感したのは最近。▼アンテナを鋭く、と日ごろ思っているが、なかなかできないでいる。だからこそ気づいた時にはまわりに語っていかねばとも思う。(た)